

技術と社会部門 2018 年度部門賞報告

技術と社会部門 功績賞を拝受して —主に機械遺産活動—

福澤清和(元・日本機械学会)

2019年9月9日に秋田大学で開催の年次大会、技術と社会部門同好会において功績賞を授与させて頂きました。大変光栄で有難く存じております。

歴代のこの功績賞受賞者の皆さまを見ますと、何故おまえが受賞だと言われても仕方ないのではないかと、自分でも本部門に貢献できていたのだろうかと思っています。

私自身は、日本機械学会事務局に奉職したのが、1972年に22歳の学卒で入社以来、事務方一筋で45年程過ぎて来ており、研究者・技術者の皆さんとは全く毛色が変わった者です。

2007年の機械遺産の認定開始頃から、技術と社会部門やその関係者の皆さまと少しずつ関わるようになりました。機械遺産は、認定当初からNHKや朝日新聞など多くのマスメディアから注目され、放送、新聞・雑誌に多数掲載されるなど、ネットでも評判は非常に高いと感じて来ました。

思い出すのは、初めて認定があった2007年夏に、知己の北大某先生から『『日本機械学会』、『機械遺産』が、北海道版の新聞の第1面に掲載されているぞ』という驚きの連絡を受けました。日本機械学会が110年の学会活動の歴史の中で、記憶にある限りで一般社会にこれほど受け入れられた活動はこれまで無かったと思いました。これは大変なことだと思い、同認定活動が社会から関心が寄せられていることに、事務局として一層の支援をしなくてはならないと強く思い、縁の下の活動・支援をしてきたつもりです。

その後、年度により多少の変動はありますが、他の学会等で始まった遺産認定活動と比べても、機械遺産は格段に多くマスメディアから注目され続けてきました(図1, 図2)。また、認定された所では、これを機に地域や産業活性化・保存活動を活発に行ったところも見られ、社会に貢献出来たように思います。

(日本機械学会誌2010年12月号73頁「機械遺産の余波について—地域活性化に貢献—」拙文：https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmemag/113/1105/113_KJ00006772769/article/-char/ja/)。ただ、つい最近「豊島園閉園」のニュースが飛び込んで来て、認定された回轉木馬「カルーセルエルドラド」の行方が気になっています。

最後に、機械遺産認定活動の成功は、ひとえに、技術と社会部門並びに諸先輩、歴代の部門並びに機械遺産委員会の委員長、委員各位や多くの関係者の皆様のそれ迄永年の多大な御尽力があってなされた成果だったと思います。私的には小生、昨年古希を迎えましたが、日本機械学



会や機械遺産の活動には今後とも注目し、まだお役に立てることがあれば、陰でお力添えしていきたいと存じます。なお、参加してきた日比谷図書文化館の「モーニングセミナー・皆読会」で一般社会人向けに、2017年12月に「近代化と文化財としての機械遺産(認定)」と題した話題提供をした資料を、京都大学・吉田英生先生のご厚意で、膨大な「ワット&エジソン」HPの一隅に登載公開して頂いておりますので是非ご笑覧願えればと存じます。

<http://wattandedison.com/museum.html> (ワット&エジソンHPの歴史・博物館)

http://wattandedison.com/Fukuzawa_2017.12.21.pdf (機械遺産プレゼン資料)

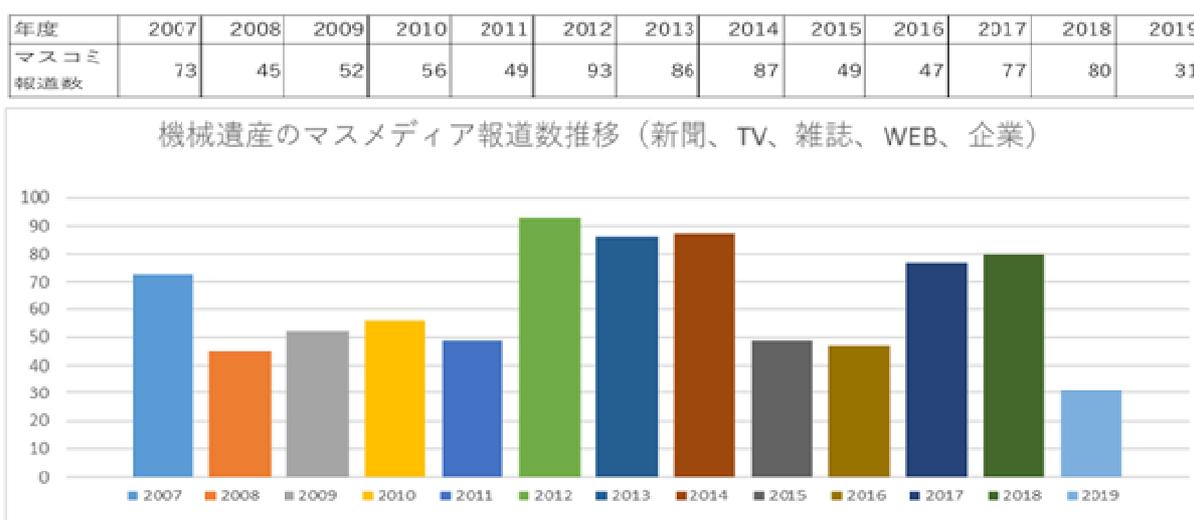


図1:機械遺産のマスメディアでの報道数(2020年2月現在)

各機関における遺産認定一覧				
2020年2月現在				
遺産(贈賞)の名称	認定団体	開始年	認定総数	認定事例
機械遺産	日本機械学会	2007	99	万年自鳴鐘、ウオッシュレット他
近代化産業遺産	経済産業省	2007と2009	1115	横浜赤レンガ倉庫他
近代化遺産	文部科学省文化庁	1993	79	碓氷峠 めがね橋、富岡製糸場他
未来技術遺産	国立科学博物館	2008	285	赤レンガ1号倉庫 保存エレベーター他
推薦産業遺産	産業考古学会	1985	92	旧岩瀬水門、北見市のハッカ取卸油生産機械群他
土木遺産	土木学会	2000	424	絵巻館前の車道用アスファルト塗層他
でんきの礎	電気学会	2008	82	ウォークマン、秋葉原電気街、鉄腕アトム放送他
情報処理技術遺産	情報処理学会	2008	100	PC-9801他
化学遺産	化学会	2010	50	貝留多味酸試料他
航空遺産	日本航空協会	2008	10	九一式戦闘機他
分析機器・科学機器遺産	日本分析機器工業会 日本科学機器学会	2012	77	ガスクロマトグラフ GC-1A 他
建築設備技術遺産	建設設備技術者協会	2012	34	TOTO歴史資料館所蔵の衛生器具等 他
トライボロジー遺産	トライボロジー学会	2011	17	明治～昭和に開発の国内主要油田の原油サンプル 他
ふね遺産	船舶海洋学会	2017	24	日本丸他
日本遺産	文部科学省文化庁	2015	83	近世日本の教育遺産群 一学が心・礼節の本源他
Landmarks	米国機械学会 ASME	1971	265	#211 Tokaido Shinkansen 他
Engineering Heritage Awards	英国機械学会 IMechE	1984	129	Killhope Wheel他

図2:各機関における遺産認定一覧

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.41

(C)著作権:2019 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門